



2024年4月12日

各位

会社名 フェスタリアホールディングス株式会社
代表名 代表取締役社長 貞松 隆 弥
(コード番号: 2736 東証スタンダード市場)
問い合わせ先 常務取締役 姉川 清 司
電話番号 03-6633-9869

2024年8月期 第2四半期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2023年10月13日に公表した2024年8月期第2四半期(2023年9月1日~2024年2月29日)における連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2024年8月期 第2四半期連結業績予想値と実績値との差異 (2023年9月1日~2024年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当り 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,500	180	150	90	76.29
実績値(B)	4,447	60	51	34	29.44
増減額 (B-A)	△53	△120	△99	△54	
増減率(%)	△1.1	△66.6	△66.0	△62.2	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2023年8月期第2四半期)	4,373	104	74	48	41.31

2. 差異及び修正の理由

(1) 第2四半期累計期間

連結売上高につきましては、高価格帯のファッションジュエリーが堅調に推移し、前年同期比では増収となったものの、ブライダルジュエリーを中心に主力商品“Wish upon a star”の売上が伸び悩んだことから、当初の予想を下回りました。

利益面につきましては、金価格が期間平均で19.7%増加するなど、原材料価格の高騰が売上原価を圧迫したことに加え、特に第1四半期においてブランディングやDX推進に伴う先行投資を拡大したことなどにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに予想を下回りました。

(2) 通期

第1四半期において、大幅な営業損失を計上したものの、第2四半期は、人材確保が段階的に進む

なかで、各種施策の効果やコスト効率が向上したことにより売上高及び営業利益が大きく改善したことから、第3四半期以降も、収益改善に向けた取り組みを継続する方針です。

具体的には、第2四半期から店舗人員が充足しつつある状況を踏まえ、階層別教育の充実を図るとともに、人員配置の適正化を進めることで、1人当たり生産性の向上による店舗収益の拡大を目指します。一方、主力商品の“Wish upon a star”は引き続き業績を牽引しているものの、売上高が伸び悩む状況となっていることから、商品力の強化を基軸としたMDの見直しを図ると同時に、プロモーション施策の実効性を高めることで、第3四半期以降の再成長に努めてまいります。また、引き続き富裕層ビジネス拡大に向けた取り組みを進めるとともに、攻めのDXとして3Dデジタルカスタマイズシステムの効果的な活用によるブライダル売上の改善を目指します。さらに、従来の販売スタッフによる個別対応の顧客管理に加え、顧客自身が会員登録を行うCRMシステムを全店展開することで、顧客データの獲得増とテックタッチによる再来店促進を図ってまいります。

EC事業に関しては、販売スタッフ自らジュエリーを着用してオンラインサイトに投稿できる「スタッフDX」ツールを導入し、顧客体験の向上による売上アップや顧客のファン化促進に繋げてまいります。

これらにより、引き続き人材力強化を中心とした成長投資を実施する一方で、ローコストオペレーションを徹底することで、足元では増収増益を積み重ねながら、成長への布石となる取り組みを推進してまいります。

以上の方針や業績改善のトレンドを踏まえ、現時点における通期の連結業績予想に関しましては、2023年10月13日に公表した内容から変更はありません。今後、消費環境の動向と第3四半期の結果を勘案し、通期業績予想の修正が見込まれる場合は速やかにお知らせいたします。

以上